

アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

健康プロデュース学部は「健康」を教育・研究テーマとし、各学科それぞれの専門家・指導者を育成するため、次のような能力と姿勢を持ち、前向きに取り組む学生を求めます。

- ◆ 基礎的な学力があり論理的な思考ができる者
- ◆ 他者との良好なコミュニケーション・人間関係を構築できる者
- ◆ 健康づくりに関心・興味があり、地域社会に貢献する意欲がある者

健康栄養学科	健康栄養学科では具体的に次のような学生を求めます。 ◆ 管理栄養士、栄養教諭などの資格に関心があり、資格取得に向けて意欲と向上心を持って、自主的に取り組める者 ◆ 食の専門家として、保健・医療・福祉・食品産業などの分野で教育や指導、栄養管理を通して、地域に貢献したいという希望と意欲を持っている者 ◆ 食や健康・栄養について科学的に研究したい者
保育健康学科	保育健康学科では具体的に次のような学生を求めます。 ◆ 子どもの健康な生活や遊びに関心・意欲を持ち、保育専門職に就くための情熱を兼ね備えた者 ◆ 保育スキル修得・コミュニケーション能力や保育研究力向上に努め、知識・技能を活かして社会貢献する意欲のある者
スポーツ健康科学科	スポーツ健康科学科では具体的に次のような学生を求めます。 ◆ 「身体」「心理」とそれを補完する「社会」の3分野を健康学の視点から幅広く学ぶ意欲のある者 ◆ 将来、スポーツ、医療・福祉、教育といった健康に関わる現場及び社会の様々な環境で活躍する意欲のある者 ◆ 常に自律的に行動し、自己の活躍の場を見いだす能力を身につけたい者
健康鍼灸学科	健康鍼灸学科では具体的に次のような学生を求めます。 ◆ 鍼灸師の仕事・国家資格に関心があり、その知識・技術の習得と資格取得に意欲のある者 ◆ 地域社会に関心を持ち、自らの知識・技術を基にした地域貢献への努力を惜しまない者 ◆ 鍼灸を基軸として健康・運動・疾病などについて科学的に研究したい者
健康柔道整復学科	健康柔道整復学科では具体的に次のような学生を求めます。 ◆ 柔道整復学に関心が深く、国家資格取得に強い意欲のある者 ◆ 医学に関する広範な知識と柔道整復学に関する手技を積極的に涵養し、社会貢献を惜しまない者 ◆ 伝統的技術の深化とその科学的発展のために努力する意欲のある者 ◆ 医療者としての高い職業倫理を身につけ、法令遵守の精神を涵養する者

総合能力入試 [奨学生型] へのチャレンジができます！

総合能力入試 [高大接続型] (以下 [高大接続型]) は専願入試ですが、合格者は以下の 1 ~ 3 の条件のもとで合格の権利を有したまま、総合能力入試 [奨学生型] (以下 [奨学生型]) に限り出願することができます。

- 1 入学手続き (納付金含む) を [高大接続型] の手続期間内に完了していること
- 2 入学手続きを完了した学科 (課程、専攻) にて [奨学生型] を出願すること
- 3 [奨学生型] の出願は、出願期間内にあらためて出願すること (ネット出願)

※振替等については、合格通知時に同封する資料を必ず確認してください。

※総合能力入試 [奨学生型] の出願資格等の詳細は、「2027年度入学試験要項」を必ず確認してください。

※総合能力入試 [高大接続型] の入学手続き (誓約書等の書類提出、納付金の一括納入) が完了していない学科 (課程、専攻) での出願は、受け付けできません。

総合能力入試 [奨学生型] 試験日

2026年
12/5[±]

出願期間

2026年
11/9^月
11/21[±]

詳細は「総合能力入学試験要項」を確認してください。

常葉大学 浜松キャンパス

〒431-2102 静岡県浜松市浜名区都田町1230

(お問合わせ) 入学センター

TEL 053-428-6736

E-mail nyushi@tokoha-u.ac.jp

公式サイト <https://www.tokoha-u.ac.jp>

受験生サイト
トコナビ <https://info.tokoha-u.ac.jp>

公式サイトは
コチラから▶



「トコナビ」は
コチラから▶



アクセス

JR 浜松駅	遠州鉄道バス 約50分	バス停 常葉大学正門
西鹿島駅	スクールバス 約45分 (運行日注意)	
三ヶ日駅	天竜浜名湖鉄道 約15分	常葉大学前駅
	天竜浜名湖鉄道 約30分	徒歩 約7分
東名浜松西 IC	車 約20分	
東名三方原PAスマートIC	車 約20分	
新東名浜松いなさ IC	車 約30分	
新東名浜松SAスマートIC	車 約10分	

健康プロデュース学部

総合能力入試 [高大接続型]

入試ガイド

健康プロデュース学部

- 健康栄養学科
- 保育健康学科
- スポーツ健康科学科
- 健康鍼灸学科
- 健康柔道整復学科

2027



常葉大学

受験を希望する学科の高大接続活動に1回以上参加

総合能力入試 [高大接続型] とは

学力の三要素を重視し、高校時代の取組(教科の成績、諸活動の実績など)、専門分野に対する興味・関心、学科への適性、学びの意欲などを、多面的かつ総合的に評価します。高校での学びを大学入学後の学修に円滑につなげるために、健康プロデュース学部が指定する「高大接続活動」に参加することが出願の条件となります。

2027年度 総合能力入試 [高大接続型] スケジュール

※不測の事態が発生し特別措置を講ずる場合は、詳細を「トコナビ」の [INFORMATION] に掲載しますので確認してください。

高大接続活動Web申込開始

STEP
1

総合能力入試サイト

<https://info.tokoha-u.ac.jp/univ-admissions/classification/ao/>

必要事項を入力の上、送信してください。

〈対象〉受験者(高校1・2年生は申し込みできません)

2026年

6/1

各学科の高大接続活動
申込フォームは
右ページ
二次元コードから▶

高大接続活動

〈会場〉浜松キャンパス

高大接続活動の内容は右ページを参照してください。

STEP
2

健康プロデュース学部の高大接続活動
1回以上参加
高大接続活動参加証明書の発行

高大接続活動終了後、「高大接続活動参加証明書」を発行します。

2026年

7/18

申込締切

7/13

受講日

8/1

申込締切

7/27

※締切日当日の受付は16:00まで

STEP
3

課題レポート作成

レポート用紙は「トコナビ」からダウンロード

<https://info.tokoha-u.ac.jp/univ-admissions/classification/ao/#6>

同じ学科の高大接続活動に複数回参加した場合は、1つのテーマを選択し、出願書類に同封して提出してください。

レポート用紙は
コチラから▶



STEP
4

出願

必要書類を揃えて出願してください。

詳細は「トコナビ」にて総合能力入学試験要項を確認してください。

2026年

9/1

火

~

9/10

木
消印有効

STEP
5

入学試験(面接)

※2学科まで学内併願ができます。(2学科受験する場合は2日間)

※同じ学科又は専攻を2日間受験することはできません。

※詳細は「トコナビ」にて総合能力入学試験要項を確認してください。

2026年

9/26

土

・

27

日

STEP
6

合格発表

2026年

10/23

金

STEP
7

入学手続き

2026年

10/23

金

~

11/13

金

STEP
8

入学前準備教育

学習意欲や目的意識を高め、4月からの学生生活をスムーズにはじめるために実施します。

詳細は「トコナビ」にて総合能力入学試験要項を確認してください。

高大接続活動について

会場

浜松キャンパス

高大接続活動(午前の部または午後の部)に1回以上参加し、課題レポートを出願書類に同封して提出してください。

当日スケジュール

	受付開始時刻	集合時刻	高大接続活動(体験授業)	入試説明・資料配布
午前の部	9:15	9:50	10:00~11:00(60分)	11:00~11:15
午後の部	12:20	12:50	13:00~14:00(60分)	14:00~14:15

注: 高大接続活動の内容は、都合により変更になる場合があります。

高大接続活動(体験授業)の内容

		7/18 ^土	8/1 ^土
健康栄養 学科	午前の部・午後の部共通	授業タイトル がんと共に生きる時代の栄養管理 ー 予防から治療期の栄養ケアまで ー 日本人の死因の第一はがんで、治療をしながら学校に通う人、仕事をする人が増えています。この授業では、がんの予防としての栄養管理とがん治療中の栄養ケアについて解説します。 担当教員 腰本 さおり	授業タイトル 「水」について考える 私たちが暮らす日本では、日常的に安全な水を飲むことができます。古代遺跡から、衛生的な水を確保するために人々はどのようにしてきたかを学び、水について考えます。 担当教員 林原 好美
	保育健康 学科	午前の部	授業タイトル 保育における遊びの意味 遊びは子どもの育ちと学びにおいて重要な活動であり、子どもたちが夢中になれる遊びの形成は、保育者の大切な仕事です。この授業では教育心理学の視点から、遊びの意味について実践を通して考えていきます。 担当教員 渡辺 涼子
スポーツ 健康科学 学科		午後の部	授業タイトル 乳幼児期における音楽の在り方 乳幼児にとって音楽とは、遊びを通して楽しみながら自然に身体に吸収されていくものですが、彼らが成長する過程においてさまざまな力を引き出す役割も担っています。果たして音楽が持つ驚くべき効果とは何か、実践を通して学んでいきましょう。 担当教員 高橋 民恵
	午前の部・午後の部共通	授業タイトル 健康づくりのための運動処方と指導法 最新の科学的根拠や国の政策、トレーニングの原理・原則を踏まえた対象者別の健康づくりのための運動処方を作成する知識と、個別および集団に対する指導法のテクニックを考えます。 担当教員 井口 睦仁	授業タイトル スポーツと動機づけ 心理学で研究されてきた「動機づけ(モチベーション)」について学び、自分自身を振り返るとともに、運動やスポーツへの動機づけを高めるうえでの注意点などについて考えます。 担当教員 後藤 慎吾
健康鍼灸 学科	午前の部・午後の部共通	授業タイトル 健康・スポーツ・美容のツボ・ケア 科学的根拠に基づき「最新の刺さない鍼」と動作テストで自分のツボを特定し、健康・スポーツ・美容に活かせるケアを体験します。 担当教員 沢崎 健太	授業タイトル 実践ツボの活用法ー美容・スポーツ分野のセルフケアー 身体の経穴(ツボ)に触れながら東洋医学のセルフケアについて学びます。美容にもスポーツにも活かせるツボケアを体験します。 担当教員 藤田 格
健康柔道 整復学科	午前の部	授業タイトル ケガの回復を支える後療法(ストレッチと手技) 柔道整復師の仕事に欠かせない後療法(ストレッチと手技)を体験し、ケガからの回復を支える考え方と基本的な技術を学びます。必要に応じて動きやすい服装を持参してください。 担当教員 中井 真悟	授業タイトル 運動器リハビリテーションの組立て 運動器とは、身体運動に関わる骨、筋肉、関節、腱などの総称であり、これらのいずれかに障害が生じると、効率的な運動が難しくなります。この授業では、運動器リハビリテーションをどのように進めるべきかを学び、実際の臨床場面で適用するための理解を深めます。 担当教員 大塚 博史
	午後の部	授業タイトル 柔道整復で学ぶスポーツのケガ予防 柔道整復の視点からスポーツ中のケガを防ぐ工夫を体験し、ウォーミングアップや柔軟体操を通して体調不良のサインの見方を学びます。必要に応じて動きやすい服装を持参してください。 担当教員 中井 真悟	